

あけまして
おめでとう
ございます
いとう
ます



南部地区購買集約センター起工式



新シリーズ「JAあそ知らない男」



小国郷収穫感謝祭



女性部正月料理講習会

CONTENTS

- ◇「新年のご挨拶」..... 2・3・4・5
- 理事会・監事会報告..... 6
- ◇理事さん・監事さん施設めぐり..... 7
- ◇JA支所訪問「高森中央支所」..... 8
- ◇くまもと農業フェア&米まつり..... 9
- くまもと菓子博にも出展
- ◇家電・家具・農機・自動車展示会..... 10
- 県肉畜共進会でGチャンピオン
- ◇小国郷はうれんそう部会・大根部会..... 11
- ◇南部地区購買集約センター起工式..... 12
- 執行部と女性部対話集会
- 西原ふれあいまつり、小国郷収穫感謝祭
- ◇南部地区女性部交流会「ミニバレー」..... 13
- JA共済ふれあいミニバレーボール大会
- 女性部正月料理講習会
- ◇JAあそ「旬な男」..... 14
- ◇税務署からのお知らせ..... 15
- ◇食糧事務所からのお知らせ..... 16



新年のごあいさつ

元気な農業と魅力ある地域づくりに全力

阿蘇農業協同組合代表理事組合長
丸山 信義



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様方にはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと思います。旧年中は、JA事業に対し深いご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。また平素より地域農業の振興のためご苦勞・ご努力頂いております組合員皆様に対し心より敬意を表するものでございます。

JA阿蘇も早いもので合併以来2年目の新年を迎え役職員一同心を新たにしている所でございます。ご承知のように農業・JAをめぐる環境は一段と厳しさを増しております。長引く不況による消費の低迷、輸入農産物の増大、昨年発生したBSE(牛海綿状脳症)問題、牛肉、トマト等に見られた産地偽装問題は熊本県産農畜産物の評価を下げ風評被害を受けることとなり、JAS法改正を求める運動へと展開していきました。更に輸入農産物の残留農薬も引き金となり無登録農薬についても大きな問題となりました。9月には食と農を守る熊本県民大会が開催され県産農畜産物の「安全・安心」の確立に向け大会決議を採択致しました。JA阿蘇と致しましても消費者に「安全・安心な農畜産物」を提供できるように厳重な検査の下、集出荷を致しております。

また、本年の通常総代会でご報告致しました「JA阿蘇地域農業戦略」の策定につきましては、組合員の皆様の意向調査、地域営農の状況調査、生産者へのヒアリング等を行いながら、JA阿蘇としての問題点を抽出し生産者・職員で構成されました「地域農業戦略プロジェクト」会議で幾度となく対策案を検討して参りました。その結果、組合員の農業所得向上のため阿蘇の地域資源を最大限に活用した農業生産の展開を図り、魅力ある阿蘇地域をつくりあげることが一番の課題だという結論に達しました。そして今回「『まるごと阿蘇ブランド(仮称)』による元気な農業と魅力ある地域づくり」を取りまとめましたので、具体的な対応策も含めて今後改革に取り組み確実な実践を図って参ります。

12月には「米政策改革大綱」が発表されましたが、骨格のみであり制度内容、助成措置等については今後検討されるものでありますが、総力をあげ実効ある内容になるよう今後も運動を展開して参ります。

いずれに致しましても組合員の負託と信頼に応えることができるJAを目指し役員一丸となり諸問題に取り組む所存でございますので、本年も尚一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年が組合員の皆様にとってすばらしい年であります事をご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

謹賀新年 本年もよろしくお願いたします



代表理事組合長
丸山 信義



代表理事副組合長
中尾 雄二



代表理事専務
堀 阿蘇夫



代表理事常務
後藤 安弘



代表理事常務
高村 祝次



非常勤理事副組合長
前鶴 義博



常勤監事
児玉 範幸

新年の「祈願祭及び御用始め式」を行う

J A阿蘇の平成15年新年の「祈願祭及び御用始め式」が、1月6日午前8時半から一の宮町の本所前駐車場で行われました。式には丸山組合長、各支所担当理事をはじめ役職員200名が参加しました。神事後、丸山組合長が「今年はJ A阿蘇地域農業戦略を実行に移す重要な年になる。全職員が気を引き締めて職務に当たろう」と決意を述べました。





明けまして おめでとう ございます

理事



宇都宮 徹
(南小国町区域)



甲斐 慶福
(高森・野尻区域)



寺川 隆文
(一の宮町宮地区)



三城 昌一
(一の宮町古城区域)



杉本 進
(一の宮町中通区域)



渡邊 六男
(旧産山村農協区域)



市原 袈春
(旧波野村農協区域)



内田 稔
(西原区域)



工藤 信行
(藤岡区域)



立田 壽一
(藤岡区域)



草村 征憲
(高森・野尻区域)



住吉 平男
(高森・野尻区域)



田上 實徳
(白水区域)



工藤 保雄
(久木野区域)



今村 健正
(久木野区域)



荒牧 俊一
(長陽区域)



本田 二男
(旧黒川農協区域)



河崎 徳雄
(旧黒川農協区域)



山本 義輝
(旧阿蘇町農協山田支所・
第一支所区域)



本年も よろしく お願いいたします



渡邊 敬一
(旧阿蘇町農協山田支所・
第一支所区域)



山内 健次
(旧阿蘇町農協内牧支所・
乙姫支所区域)



日田 政次
(旧阿蘇町農協尾ヶ石支所・
永水支所区域)



高野 伊助
(小国町区域)



原山 輝義
(小国町区域)



橋本 秀一
(南小国町区域)



室原 昭博
(南小国町区域)



井手 孝義
(青壮年部組織)



田中 弘子
(女性部組織)

監事



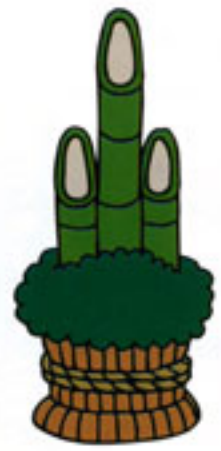
三森 和義
(一の宮町坂梨区域)



宮川 英明
(蘇陽区域)



緒方 健一
(白水区域)



江入 鐵雄
(旧阿蘇町農協尾ヶ石支所・
永水支所区域)



穴井 英之
(小国町区域)



松岡 文幸
(区域全域)

理事会・監事会報告

平成14年11月から12月までの間、理事会・監事会が下記の通り開催されましたので、そのご報告をいたします。

■第6回理事会

日時 平成14年11月7日午後1時30分

場所 阿蘇町東部支所2階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 平成14年度上半期決算報告について
4. 協議事項
 - (1) JA全国監査機構熊本県監査部監査報告について
 - (2) 定款の変更について
 - (3) 信用事業規程の変更について
 - (4) 宅地等供給事業実施規程の変更について
 - (5) 職制規程の変更について
 - (6) 中央支所担当理事設置要領について
 - (7) 保護預り規程の一部変更について
 - (8) 平成14年余裕金の運用について
 - (9) 信用事業手数料の新設について
 - (10) JA教育ローンキャンペーンについて
 - (11) 畜産近代化リース事業について
 - (12) 不必要農業廃棄処理について
 - (13) 臨時総代会の開催について
 - (14) 小国町森林組合貸付金について
 - (15) 確定拠出年金取扱登録申請について
 - (16) 貸付金について
 - (17) 一の宮中央支所建設施工方法並びに土地購入について
 - (18) 南部購買集約店舗建設施工方法について
 - (19) その他

報告事項 熊本アグリシステム(県情報センター)システム移行延期について

報告事項 建設委員会報告

報告事項 内部監査上半期実施状況について

報告事項 平成14年度上半期出費金状況について

■第7回理事会

日時 平成14年11月28日午後1時30分

場所 阿蘇町東部支所2階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 10月末実績報告
4. 協議事項
 - (1) 信用事業方法書の一部改正について
 - (2) 定期性貯金0円口座整理要領(案)について
 - (3) 貸付金について
 - (4) 准職員就業規則(案)について
 - (5) 全国監査機構期中監査回答書について
 - (6) 農産物販売代金仮渡要領(案)について
 - (7) 南部営農センター新築工事に伴う系統施工について
 - (8) 購買取引契約書(案)について
 - (9) 畜産近代化リース事業について
 - (10) 職員年末賞与支給について
 - (11) コンプライアンス点検実施について
 - (12) 組織整備委員の選任について

(13) 南部購買集約店舗名称について

(14) その他

報告事項 JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について

■第8回理事会

日時 平成14年12月19日午後1時30分

場所 阿蘇町東部支所2階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 異常例検査講評
4. 11月末実績報告
5. 協議事項
 - (1) 平成14年度上半期決算監事監査報告
 - (2) 平成14年度導入家畜等棚卸監査実施について
 - (3) 資産査定要領の変更について
 - (4) 貸付金について
 - (5) 年末年始休業について(折願祭及び平成15年御用始め式について)
 - (6) 平成15年産米価格差について
 - (7) その他

■第9回理事会

日時 平成14年12月26日午後1時30分

場所 阿蘇町東部支所2階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - (1) 農業戦略提案について
 - (2) 貸付金について
 - (3) 畜産近代化リース事業について
 - (4) 資産査定要領キャッシュフロー債権額について
 - (5) 信連外部出資について
 - (6) 米政策大綱について
 - (7) その他

報告事項

■第6回監事会

日時 平成14年11月6日午後1時30分

場所 本所2階会議室

1. 開会
2. 常勤監事挨拶
3. 議題
 - (1) 平成14年度上半期決算監事監査報告について
 - (2) 平成14年度導入家畜等棚卸監査実施要領(案)について
 - (3) 導入家畜・預託家畜等の棚卸監査実施について
 - (4) その他
4. 閉会

理事さん、監事さんら J A阿蘇約80の施設を巡回

J A阿蘇の施設巡回が丸山組合長をはじめ常勤役員・理事・監事が参加して、11月21日（南部地区）と26日（中北部地区）の2回に分けて行われました。

この施設巡回はJ A合併後初めての試みで、J A阿蘇管内の約80の支所や施設等を直接訪れることにより、その状況や位置を的確に把握し、今後のJ A運営に活かしていくという趣旨で行われたものです。施設巡回のコースは下記の通りです。

《南部地区コース》

南部営農センター～長陽（給油所・配送センター）
～西原（農車センター・給油所・野菜集出荷場）
～河原（給油所）～久木野（給油所・育苗センター）
～白水（給油所・野菜集出荷場・ライスセンター・
購買集約店舗建設予定地）～高森（給油所・農車
センター・野菜集出荷場）～蘇陽（柏給油所・A
コープ・野菜集出荷場）～蘇陽農車センター～馬見
原（給油所・茶加工施設）～草部（給油所）～野尻（野
菜集出荷場）～河原野菜集出荷場～南部営農セン
ター



長陽配送センター



西原中央支所と給油所



Aコープ蘇陽



馬見原茶加工場



白水ライスセンター



馬見原くらしのセンター

《中北部地区コース》

一の宮中央支所（ライスセンター・農機センター・
野菜集出荷場・中央支所建設予定地）～古城～中
通～宮地（給油所・車輻センター）～坂梨（給油所）
～波野（野菜集出荷場・給油所）～産山（野菜集
出荷場）～南小国（農機センター・購買店舗）～
小国（びらみっと・加工施設・肉処理施設・ライ
スセンター・家畜市場・茶加工施設・野菜集出荷場・
小国郷営農センター）～阿蘇町（給油所・育苗施設）
～やまびこ（育苗施設・野菜集出荷施設・農機セ
ンター・阿蘇町カントリー）～尾ヶ石～永水（給
油所）～黒川（給油所）～東部（中部営農センター）
～野菜集出荷場（選果場）～一の宮中央支所



一の宮農機センター



波野野菜集出荷場



Aマート南小国



びらみっと



グリーンショップやまびこ



産山特産品加工場

J A支所訪問 (第6回)

J A阿蘇の各支所や施設を紹介する「J A支所訪問」。今回は「高森中央支所」です。

高森中央支所

高森町大字高森2193-1 ☎0967-62-0521
F A X 0967-62-0254

(12月より局番が2桁になりました)



国道325号が走る「高森中央支所」周辺

■南阿蘇地域の拠点、要衝の地「高森」

「高森中央支所」(岩下卓夫支所長・職員19名＝臨時含む)は、高森町中心部を東西に走る国道325号沿いにあります。すぐ近くで南北に走る国道265号と交差しており、一帯は隣接する白水村・一の宮町・波野村・蘇陽町等への要衝の地となっています。また支所近くには高森町役場や林業総合センター、少し離れて南阿蘇鉄道の高森駅等もあり、南阿蘇地域の拠点となっています。

近年、高森町は南阿蘇における観光スポットとしても人気があり、雄大な自然と根子岳の眺め、高森温泉館、高森田楽、湧水トンネル公園などが話題となって大勢の観光客が訪れています。

高森町は昭和30年、色見村・草部村と合併。さらに32年には野尻村と合併し今日の高森町となりました。高森は標高平均630mの西部(高森・色見)地区と、外輪山外側の同680mの東部(草部・野尻)地区に分かれており、耕地は高森・色見の南郷谷一部と草部・野尻地区の山林原野の間に帯状、扇状に散在しています。



高森中央支所職員の皆さん

■地域の特性を活かし多種多様な農産物を生産

現在、組合員数は正が936名、准が375名(通常総代会資料による)です。営農の形態は、高森・色見地区が稲作を中心に欧色種タバコ、トマト、ミニトマト、加工用ダイコン、花卉、イチゴ、メロン、ピーマン等の栽培。草部地区が在来種タバコ、畜産と稲作の複合経営。野尻地区がミニトマト、花卉、キャベツ、種バレイショ栽培等とそれぞれの地域の特色を活かした多種多様なものとなっています。しかし、いずれの農作物も厳しい産地間競争にさらされ、価格低迷の状況下にあります。

一方、観光りんご園が草部に1軒、高森に4軒あり、収穫シーズン中は熊本をはじめ福岡や宮崎からの観光客で賑わいをみせています。

いずれの地区でも寒暖の差が激しいため、例えば「高森産のトマトやミニトマトは甘味が強くおいしい」との評価が、市場関係者や消費者の間で定着しています。



中央支所横にある「南部農機車輛センター」



■町ぐるみで自然循環型有機農業めざす

昨年11月、高森町が土づくりを基本とした自然循環型有機農業の拠点施設にしようと、県畜産開発公社と一緒に建設した施設「阿蘇高森オーガニック・アグリセンター」が、高森町河原に完成しました。この施設では畜産農家から排出される原料を利用した有機質堆肥の生産販売等が行われています。このため高森中央支所管内では有機質堆肥を積極的に使用し、価格が低下している農産物の品質と価格向上に取り組んでいきたいとしています。

■農家の“経営支援センター”としての役割

岩下卓夫支所長は「有機質堆肥の対応をさらに進めて、農家の所得向上につながるような一層の支援を行なう必要がある。そのためには支所が“経営支援センター”としての役割と機能が果たせるように職員ともども努力しなければならない。また、高森を含む南阿蘇を訪れる観光客は多いが、農家の皆さんやJAに実質的なメリットがあるような販売体制を整えていきたい」と今後の課題を語っていました。高森中央支所の関連施設としては「草部支所」と「野尻支所」のほか、「南部農機車輛センター」などがあります。



高森町草部地区にある「草部支所」



高森町津留地区にある「野尻支所」

「2002くまもと 農業フェア&米まつり」

J A阿蘇も旬の農産物や加工品を出展



県下各JAや特産品加工グループなど約100団体が自慢の農産物や特産物を展示即売し、消費者との相互理解を深めようと「くまもと農業フェア&米まつり」が10月26・27日、合志町の県農業公園カントリーパークで開かれました。キャッチフレーズである“やっばよか！身近なおいしさ！くまもと農業”の下、JA阿蘇からは、阿蘇コシヒカリをはじめ旬の野菜や加工品など産地直送品がずらり並べられ、多くの買物客で賑わいをみせていました。

会場の特設ステージでは各種イベントも行われ、女性だけによる「俄かつぎ大会」には大きな歓声が沸き上がっていました。



「くまもと菓子博2002」会場で 小国郷「生しいたけ生産部会」がPR

11月1日から18日まで、グランメッセ熊本と熊本城を会場に開かれた「くまもと菓子博」の“熊本特産市”に、JA阿蘇小国郷から生しいたけ生産部会が出展。特産の生しいたけの試食会などPRと販売を精力的に行いました。



恒例の「家電・家具フェア」と 「農機・自動車ショー」開催



毎年恒例となったJ A阿蘇主催の「家電・家具フェア」(中部会場=11月2・3日、南部会場=11月9・10日)と「農機・自動車ショー」(中部会場=11月26・27日、南部会場=11月29・30日)が開かれました。家電・家具フェア会場にはテレビ、冷蔵庫、暖房機器など最新の家電製品や家具、リビング、インテリア用品などが一堂に展示され、豊富な品揃えに関心が集まっていました。

また、農機・自動車ショーには各メーカーの軽トラックや今年話題の小型乗用車などがずらっと展示され、人気車種の周りには人垣ができていました。



農機・自動車ショー
(中部会場となった一の宮野菜集出荷場)

『平隆』がグランドチャンピオンに

秋吉さん・小田原さん金賞

第18回県肉畜共進会

第18回熊本県肉畜共進会が10月28日から11月1日まで、菊池郡七城町の熊本畜産流通センターで開かれ、肉用種牛など80頭が出品されました。

J A阿蘇からは「黒毛和種(去勢)部門」に出品された『平隆』(出品者・秋吉克幸・小国町、繁殖者・麻生隆行・南小国町)と、「褐毛和種(雌)部門」に出品された『みつほまれ』(出品者・小田原孝・小国町、繁殖者・後藤信介・小国町)が部門の最高賞である金賞を受賞し、5部門のうち2部門でJ A阿蘇小国郷が金賞を獲得しました。さらに『平隆』が大会の最高賞であるグランドチャンピオンに輝きました。



表彰式の様子



グランドチャンピオンを受賞した『平隆』の雄姿と枝肉

(写真左「平隆」、右「みつほまれ」)



エコファーマーとして 「安心・安全・安定」の 農業経営をめざそう！

「ほうれんそう部会」と「大根部会」反省会
＝JA阿蘇小国郷＝



■「ほうれんそう部会」小国町産業功労賞を受賞

「ほうれんそう部会」(松崎公男部会長・会員197名)の反省会は12月10日、会員や市場関係者ら220名が参加して開かれました。先ず松崎部会長が「平成14年は無登録農産、輸入野菜の残留農薬、そして偽装表示など何かと消費者の信頼を損なう問題が多く起こったが、部会としてはこのような問題に感わされず“安心・安全・安定”の農業経営をさらに進めよう」と挨拶。そして、昨年11月3日、「ほうれんそう部会」が小国町の産業功労賞を受賞したことを改めて披露しました。

続いて来賓の宇都宮徹理事が祝辞の中で「例えば、今後は冷凍ほうれんそうといった付加価値が高い商品を独自に開発することも必要になるだろう」と述べ、「エコファーマーに向かって努力することは消費者のニーズを高め、信頼にもつながる」とエールを送りました。その後、担当者から市場情勢、出荷販売実績などの報告があり、閉会しました。

尚、ほうれんそう部会の販売額(平成14年4月～11月)は、4億3,500万円となっています。

小国郷の平成14年度「ほうれんそう部会」と「大根部会」の反省会が昨年暮れ、小国郷中央支所2階の情報企画センターで開かれ、それぞれの部会とも“安心・安全・安定”の農業経営をめざすことなどを誓い合いました。



エコファーマー認定授与式

■「大根部会」生産者全員をエコファーマー認定
生産3部門の表彰も行われる

「大根部会」(佐藤義久部会長・会員38名)の反省会は12月14日、会員や市場関係者ら約80名が参加して開かれました。反省会に先立ち、大根部会全員に農業普及センターの宮川所長から“持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律”に基づくとして、「エコファーマー認定授与式」が行われ、一人一人に認定証が手渡されました。

その後、大根生産に貢献があった5名の会員の表彰式に移り、選別部門で秋吉重信さんと宮崎徳雄さん、生産技術部門で明里忠行さんと佐藤隆さん、対比率部門で田原聖さんが佐藤部会長から表彰を受けました。

続いて反省会に移り、佐藤部会長が「今後の農業振興には消費者を無視した方策は許されない。防除記録の徹底など、より細かな生産の管理が求められる…」と挨拶し、後藤安弘常務をはじめ来賓からの祝辞がありました。

大根部会の平成14年度販売実績(4月～12月)は6億1,565万円となっており、前年対比117%となっています。

平成11年10月25日から施行された「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」によって認定された生産者を「エコファーマー」という。

この「エコファーマー法」制定の背景には、「農業は食料の供給のほか国土や環境の保全といった多面的機能を有しており、このような機能を将来にわたって維持していくことが必要である」とこととなっている。

エコファーマー認定を受けるための構成技術として、堆肥等による土づくりと化学肥料・農薬の低減を一体的に行う農業生産方式に取り組むことが必要であり、基本的には「土づくりに関する技術」「化学肥料低減技術」「化学農薬低減技術」の3つを組み合わせる。

エコファーマー認定者へは、農業改良資金(環境保全型農業導入資金)の特別措置や税制面での特別措置が受けられる。

利便性と機能性の向上をはかる 「南部地区購買集約センター」 今春オープン

J A阿蘇南部地区の購買店舗を集約し、一層の利便性と機能性向上をはかるための新たな施設として建設される「南部地区購買集約センター」起工式が、11月9日、白水村野菜集出荷場近くの建設地で行われました。起工式には丸山組合長を



じめ役・職員、桐原白水村長、地区の代表者、工事関係者ら約45人が出席しました。神事の

後、丸山組合長が楯入れの儀等を行い工事の無事を祈りました。この集約センターの工事は2月に完工し、春先にオープンの予定です。

J A阿蘇執行部と女性部

なごやかな中にも熱心な意見交換

J A阿蘇執行部と女性部との対話集会在11月22日、阿蘇町のホテル角萬で行われました。同集会には執行部から丸山信義組合長、中尾雄二副組合長、堀阿蘇夫専務、後藤安弘・高村祝次両専務、前鶴義博副組合長、児玉範幸常勤監事、島津圭典業務参事、各担当部長ら11人が、女性部からは田中弘子会長ら役員・会員29人が参加しました。

この対話集会は、女性部からの要望で開かれたもので、開会にあたり田中会長が「J A阿蘇が合併して2年目を迎えたが、まだ女性部と執行部役員の方々と直接対話する機会が実現できなかった。今回、このような意義ある機会を設けて頂き大変感謝している」と挨拶をしました。

続いて丸山組合長が合併してそれまでの1年8

ヵ月を振り返り、「合併以来、J A阿蘇は予定通り順調な歩みを続けている。現在、地域ごとの営農および農業振興計画ができつつある。今後はJ A内部の機構改革や生産部会の統合、販売専従員という担当者を設けているので農作物の販売強化、地産地消の推進にさらなる重点を置きたい。そのためにも特に女性部や高齢者の知恵と力が必要」と応え、質疑応答に移りました。質疑応答は終始なごやかな雰囲気の中にも、熱心な意見交換が行われました。



「農業祭」各地で賑やかに

●西原村では11月17日、農業祭を役場と一緒にあって「ふれあいまつり」として開催しました。会場となった西原中学校グラウンドにはテントが並び、野菜・果物・農産加工品の展示・即売や農作物品評会、農機具、自動車展示会などが行われました。特設ステージでは西原夢運太鼓、からいもダンサーズによる踊り、老人会による「地突き歌」などのパフォーマンスが繰り広げられました。



秋晴れの下、J A阿蘇管内各地では賑やかに「農業祭」が行われました。

●「小国郷収穫感謝祭」は11月23日、生産者と消費者の交流をはかろうと小国郷中央支所野菜集出荷場を会場に開かれ、数千人の人々が訪れました。イベントとして津軽三味線奏者の高崎裕土さんのライブをはじめ、和太鼓演奏、ヨーグルト早飲み大会、野菜せり実演会、組織・部会対抗綱引き大会等が行われ、盛り上がりを見せました。また、会場の一角では農産物、乳製品、牛肉等の販売も行われました。



南部地区女性部交流会 「ミニバレー大会」



選手宣誓をする久木野チームの橋原キヨコさん



平成14年度南部地区女性部交流会「ミニバレー大会」が11月19日、長陽村民体育館で開かれました。主催者を代表し大塚るい子さん（長陽）が「これからは多忙な時期を迎えますので、本日は思い切り体を伸ばしてリラックスしましょう」と挨拶を行い、試合に移りました。第3回目を迎える今大会には5人1チームで、蘇陽(1)野尻(1)高森(2)白水(3)久木野(3)長陽(2)西原(4)今村組(1)来賓(1)の計18チームが参加しました。接戦の結果、各パート次の4チームが優勝しました。Aパート＝蘇陽、Bパート＝西原①、Cパート＝久木野③、Dパート＝長陽①

JA共済ふれあいミニバレー大会
「小国サミット・プリプリファイターズ
・花しのぶ・ひまわり」の4チームが出場



第5回JA共済ふれあいミニバレー大会が11月30日、熊本県立総合体育館で開かれました。JA阿蘇からは「小国サミット・プリプリファイターズ・花しのぶ・ひまわり」の4チームが出場し、熱戦が繰り広げられました。試合の結果、JA阿蘇から出場した4チームはいずれも残念ながら入賞できませんでしたが、各チームの健闘には大きな拍手が送られました。尚、各チームの監督・選手名は以下の通りです。（敬称略）

小国サミット（監督＝千原かずみ、選手＝小野ますよ・穴井千鶴・河津なおみ・平野たか子・宗像良子・河津スヤ）、プリプリファイターズ（監督＝園田浩文、選手＝小島裕子・園田金子・下田智恵・下城定代・成瀬まゆみ・下田真由美）、花しのぶ（監督＝瀬井真美、選手＝後藤保子・後藤真知子・本田美佐子・住吉りえ子・甲斐いつみ・有働美由紀）、ひまわり（監督＝大和とよ子、選手＝猪島そよ子・大和冬子・坂梨むつみ・坂梨ミサ子・坂梨和代・黒田洋子）

“地産地消”の正月料理講習会 JA阿蘇女性部

JA阿蘇女性部の正月料理講習会が11月22日、阿蘇町の農村環境改善センターで行われました。この講習会にはメンバーの約20人が参加して、親子どりと野菜のさっぱり煮、さけとグリーンアスパラの焼きびたしなど身近な材料を利用して30種余りのメニューを作りました。



「JAあそだより」今号から始まった「JAあそ旬な男・鮮な女」は、JA阿蘇の旬で燃えている男性と、粋でフレッシュな女性を紹介するページです。このページへの掲載は、自薦他薦、年齢など資格は一切ありません。お気軽にご応募くだ

さい。お問い合わせは「営農部」または「営農センター」へ。第1回目となった今回の「JAあそ旬な男・鮮な女」、残念ながら“鮮な女”の応募がなく、“旬な男19歳”、共に“サッカーが趣味”という2人の登場です！

藤は 大津 ^{はな}一さん (昭和58年8月生まれ、19歳)
白水村一関102-1

藤は「大津ブランド」の商品開発



「農業が好きだから」と昨年3月、熊本農業高校畜産科卒業と同時に実家に就農した大津一さん。家族は祖父・祖母・両親・姉妹3人と本人の8人です。現在、両親と3人でイチゴ35a、繁殖牛11頭、米2haを営営しています。一さんの日課は、朝起きて先ず牛に餌を与えることから始まります。その後、イチゴハウスでの作業と続きます。

エコファーマーの認定を受けている大津さんのイチゴ園では、3年前から白水や長陽のイチゴ園12軒と一緒に「観光イチゴ園」をはじめました。「観光イチゴ園」は12月から翌年5月末までオープンします。イチゴ狩りには県外からも観光客や団体客がやって来るため、一さんの趣味であるサッカーも「シーズン中は忙しくて、できそうにない」そうです。

将来の夢は「営農の規模を拡大して“大津ブランド”のイチゴ商品を作る」という一さん。父親の洋二さんは一さんを「意欲を持って農業に当たってくれている。将来、嫁が嫁いできたら4人で“大津ブランド”の営農ができることを楽しみにしている」と語っていました。

「イチゴのシーズン中は、イチゴに没頭です」と、一さん

イチゴ栽培にも挑戦したい 河津 光一さん (昭和58年9月生まれ、19歳)
南小国町中原3981

イチゴ栽培にも挑戦したい



農業に就いた理由は「小さい頃から家の農業を手伝っていたから」という河津さん。その思いを実現するため熊本農業高校農業科に進学し、昨年3月、卒業と同時に実家に就農しました。家族は祖父・祖母・両親と姉と弟の7人。現在、河津家では米100a、ほうれん草36a、七草36a、パセリ4a、肉牛12頭を営営しています。その中で、光一さんはパセリを任されています。

「熊農在学中は、学ぶという立場で気楽で、失敗もしてもよかったけれど、実際の仕事（農業）には失敗が許されないという厳しさがあります。パセリも日々の農作業と管理をきちんとやっておかないと、病気になったり霜にやられたりするので、気が抜けません。一応、土曜日を休みとしていますが、仕事が忙しい時はなかなか休めませんが、休めた時はサッカーをするのが楽しみ」と光一さん。南小国FC（サッカーチーム）のディフェンスとしても活躍中です。将来の夢を「高校時代に現場



実習で一宮のイチゴ農家にお世話になったことがあるから、イチゴ栽培にも挑戦したいと答えました。

「パセリは年中収穫できるのがよかったです」と、光一さん

阿蘇税務署からのお知らせ

農業所得者の記帳等について

農業所得の計算は、他の事業所得と同様、収支実額計算によることが原則となっています。このため、税務署では青色申告をお勧めするとともに、青色申告以外の方についても記帳等に基づく収支実額計算による申告をしていただくよう推進しております。

具体的には、関係機関の協力を得て記帳・収支実額計算の説明会及び研修会を開催していますので、これらの機会を是非ご利用ください。また、高齢等のためどうしても記帳ができない方であっても、できるだけ取引の記録（領収証、請求書など）を保存していただき、これに基づいて申告していただくようお願いします。

なお、不明な点がありましたら、最寄りの税務署・税務相談室にお気軽にお尋ねください。

阿蘇税務署（電話0967-22-0551）
熊本東税務相談室（電話096-369-4582）

国民年金の保険料等について

従来市町村が行っていた国民年金の保険料等の徴収事務が平成14年4月より社会保険庁に移管されたことに伴い、国民年金の保険料の金額は役場の税務課では確認できません。

従いまして、申告の際は納付された国民年金の金額が計算できるように領収書や預金通帳の準備をしていただく必要があります。

J A阿蘇農業用確定申告説明会

- 小国郷営農センター管内 平成15年1月23日（木曜日）

対象地区	場 所	時間（白色申告）	時間（青色申告）
小国郷中央支所	小国郷中央支所 （2F Jホール）	午前10時00分～	午後1時30分～

- 中部営農センター管内 平成15年1月29日（水曜日）

対象地区	場 所	時間（白色申告）	時間（青色申告）
一の宮中央支所 波野中央支所 産山中央支所	農村環境改善センター	午前10時00分～	午後1時30分～

平成15年1月30日（木曜日）

対象地区	場 所	時間（白色申告）	時間（青色申告）
阿蘇町中央支所 黒川中央支所	農村環境改善センター	午前10時00分～	午後1時30分～

- 南部営農センター管内 平成15年1月28日（火曜日）

対象地区	場 所	時間（白色申告）	時間（青色申告）
西原中央支所 蘇陽中央支所 高森中央支所 白水中央支所 久木野中央支所 長陽中央支所	高森町林業センター	午前10時00分～	午後2時00分～

平成14年確定申告書の様式をご持参ください

●食糧事務所からのお願い●

農家の皆さんへ

国内テロ防止対策のために、
農薬の保管・管理にご協力ください。

1 農薬の保管・管理をしっかりと、
盗難、紛失の防止に努めましょう。

●特に、毒物又は劇物に該当する農薬については、次のことに気をつけてください。

- ①鍵のかかる保管庫等の整備
- ②保管量の定期的なチェック、利用状況の記録



2 盗難、紛失事故が発生した場合は、
直ちに警察署に届けましょう。

農林水産省 福岡食糧事務所 熊本事務所

発行

阿蘇農業協同組合総務部総務人事課
〒869-2612 熊本県阿蘇郡一の宮町宮地387-5

TEL 0967・22・6111
FAX 0967・23・1088